



平成27年11月16日

各位

会社名 株式会社小僧寿し
代表者名 代表取締役社長 磯村 明彦
(JASDAQコード9973)
問合せ先 取締役財務経理部長 片野 裕之
(電話番号 03-6226-4400)

(訂正)「平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年11月14日に開示致しました「平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正を致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成27年11月16日付）「過年度決算短信等の訂正および有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(訂正前)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	9,205	△22.1	<u>△558</u>	—	<u>△599</u>	—	<u>△769</u>	—
25年12月期第3四半期	11,808	△16.5	△372	—	△381	—	△810	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △769百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 △810百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	<u>△32.39</u>	—
25年12月期第3四半期	△53.60	—

(訂正後)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	9,205	△22.1	<u>△530</u>	—	<u>△571</u>	—	<u>△741</u>	—
25年12月期第3四半期	11,808	△16.5	△372	—	△381	—	△810	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △741百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 △810百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	<u>△31.21</u>	—
25年12月期第3四半期	△53.60	—

(2) 連結財政状態

(訂正前)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	<u>3,679</u>	<u>1,746</u>	<u>47.4</u>	<u>58.58</u>
25年12月期	<u>4,237</u>	<u>1,019</u>	<u>23.9</u>	<u>57.02</u>

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,742百万円 25年12月期 1,011百万円

(訂正後)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	<u>3,707</u>	<u>1,777</u>	<u>47.9</u>	<u>59.65</u>
25年12月期	<u>4,238</u>	<u>1,023</u>	<u>24.0</u>	<u>57.23</u>

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,774百万円 25年12月期 1,015百万円

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策等を背景に全体として緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費には依然として反映されておらず、駆け込み需要の反動の長期化も懸念されております。外食産業におきましては、原材料価格の高騰や、業種を超えた企業間競争の激化は加速しており、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中で、当社の主軸である持ち帰り寿司事業の立て直しを優先的課題とし、オペレーションの見直しによる店舗収益構造の改善や、コスト構造の改善に注力いたしました。

一方で、競合店の出店、価格競争の激化に伴い1店舗当たりの商圈が狭小する現状において、収益改善の見通しが立たない不採算店舗の閉店を進めております。

しかしながら、不採算店舗の閉店について、その完了に一定の期間を要することや、各種施策によるコストダウンの効果が本格的に顕在化するのが第4四半期以降となる見通しとなっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、92億5百万円（前年同期比22.0%減）となりました。営業損失は5億58百万円（前年同期は3億72百万円の営業損失）、経常損失は5億99百万円（前年同期は3億81百万円の経常損失）となりました。四半期純損失は7億69百万円（前年同期は8億10百万円の四半期純損失）となりました。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策等を背景に全体として緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費には依然として反映されておらず、駆け込み需要の反動の長期化も懸念されております。外食産業におきましては、原材料価格の高騰や、業種を超えた企業間競争の激化は加速しており、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中で、当社の主軸である持ち帰り寿司事業の立て直しを優先的課題とし、オペレーションの見直しによる店舗収益構造の改善や、コスト構造の改善に注力いたしました。

一方で、競合店の出店、価格競争の激化に伴い1店舗当たりの商圈が狭小する現状において、収益改善の見通しが立たない不採算店舗の閉店を進めております。

しかしながら、不採算店舗の閉店について、その完了に一定の期間を要することや、各種施策によるコストダウンの効果が本格的に顕在化するのが第4四半期以降となる見通しとなっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、92億5百万円（前年同期比22.0%減）となりました。営業損失は5億30百万円（前年同期は3億72百万円の営業損失）、経常損失は5億71百万円（前年同期は3億81百万円の経常損失）となりました。四半期純損失は7億41百万円（前年同期は8億10百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は36億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億58百万円の減少となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金が2億51百万円の減少、商品が4億31百万円の減少したこと等によるものです。

負債合計は19億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億85百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金が5億63百万円の減少、短期借入金が2億円の減少、未払金が1億97百万円の減少によるものです。

株主資本は、前連結会計年度末に比べ7億30百万円の増加し17億42百万円となりました。主な要因としては、ライツオファリングによる資本金7億50百万円の増加及び資本準備金7億50百万円の増加があったものの第3四半期連結累計期間の業績を反映し、利益剰余金7億69百万円の減少によるものです。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は37億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億31百万円の減少となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金が2億51百万円の減少、商品が4億31百万円の減少したこと等によるものです。

負債合計は19億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億85百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金が5億64百万円の減少、短期借入金が2億円の減少、未払金が1億97百万円の減少によるものです。

株主資本は、前連結会計年度末に比べ7億58百万円の増加し17億74百万円となりました。主な要因としては、ライツオファリングによる資本金7億50百万円の増加及び資本準備金7億50百万円の増加があったものの第3四半期連結累計期間の業績を反映し、利益剰余金7億41百万円の減少によるものです。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

(訂正前)

当社グループでは、第43期（平成22年12月期）に営業損失4億57百万円、第44期（平成23年12月期）に営業損失1億40百万円、第45期（平成24年12月期）に営業損失6億44百万円、第46期（平成25年12月期）に営業損失6億14百万円を計上しており、また、営業キャッシュフローもマイナスとなっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況（以下「重要事象等」）が存在しております。

当社グループでは当該状況を改善するために、以下の政策を進め、当社グループの収益構造を抜本的に改革していくとともに、財務基盤の強化を図ってまいります。

(訂正後)

当社グループでは、第43期（平成22年12月期）に営業損失4億57百万円、第44期（平成23年12月期）に営業損失1億40百万円、第45期（平成24年12月期）に営業損失6億44百万円、第46期（平成25年12月期）に営業損失6億10百万円を計上しており、また、営業キャッシュフローもマイナスとなっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況（以下「重要事象等」）が存在しております。

当社グループでは当該状況を改善するために、以下の政策を進め、当社グループの収益構造を抜本的に改革していくとともに、財務基盤の強化を図ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,037,743	984,340
受取手形及び売掛金	622,633	371,225
商品	724,862	293,640
貯蔵品	34,431	24,048
その他	339,665	367,572
貸倒引当金	△100,251	△175,114
流動資産合計	<u>2,659,084</u>	<u>1,865,711</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,724,762	1,725,612
減価償却累計額	△1,724,569	△1,677,680
建物及び構築物 (純額)	193	47,931
機械装置及び運搬具	56,615	56,615
減価償却累計額	△56,615	△56,615
機械装置及び運搬具 (純額)	—	—
工具、器具及び備品	743,980	723,428
減価償却累計額	△743,229	△713,364
工具、器具及び備品 (純額)	751	10,063
土地	324,795	324,795
リース資産	26,300	8,800
減価償却累計額	△8,800	△8,800
リース資産 (純額)	17,500	—
有形固定資産合計	<u>343,239</u>	<u>382,790</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	7,282	7,232
敷金及び保証金	1,053,250	1,276,516
長期前払費用	11,642	3,475
破産債権等に準ずる債権	323,565	327,048
その他	69,039	43,709
貸倒引当金	△229,463	△227,333
投資その他の資産合計	<u>1,235,317</u>	<u>1,430,648</u>
固定資産合計	<u>1,578,557</u>	<u>1,813,439</u>
資産合計	<u>4,237,642</u>	<u>3,679,151</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,057,843	493,905
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	201,200	199,200
リース債務	8,916	6,241
未払金	682,128	485,120
未払法人税等	69,399	9,518
賞与引当金	5,643	13,714
資産除去債務	4,978	23,773
その他	197,557	125,104
流動負債合計	2,427,667	1,356,576
固定負債		
長期借入金	174,200	25,300
リース債務	31,923	11,701
長期未払金	8,585	6,300
資産除去債務	375,043	342,579
その他	200,805	190,677
固定負債合計	790,557	576,559
負債合計	3,218,225	1,933,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,307	2,769,338
資本剰余金	771,788	1,521,820
利益剰余金	△1,771,867	△2,541,155
自己株式	△7,315	△7,376
株主資本合計	1,011,913	1,742,626
新株予約権	7,503	3,388
純資産合計	1,019,416	1,746,015
負債純資産合計	4,237,642	3,679,151

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,037,743	984,340
受取手形及び売掛金	622,633	371,225
商品	724,862	293,640
貯蔵品	34,431	24,048
その他	<u>340,720</u>	<u>396,058</u>
貸倒引当金	<u>△100,251</u>	<u>△175,114</u>
流動資産合計	<u>2,660,140</u>	<u>1,894,197</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,724,762	1,725,612
減価償却累計額	<u>△1,724,569</u>	<u>△1,677,680</u>
建物及び構築物(純額)	<u>193</u>	<u>47,931</u>
機械装置及び運搬具	56,615	56,615
減価償却累計額	<u>△56,615</u>	<u>△56,615</u>
機械装置及び運搬具(純額)	<u>—</u>	<u>—</u>
工具、器具及び備品	743,980	723,428
減価償却累計額	<u>△743,229</u>	<u>△713,364</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>751</u>	<u>10,063</u>
土地	324,795	324,795
リース資産	26,300	8,800
減価償却累計額	<u>△8,800</u>	<u>△8,800</u>
リース資産(純額)	<u>17,500</u>	<u>—</u>
有形固定資産合計	<u>343,239</u>	<u>382,790</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	7,282	7,232
敷金及び保証金	1,053,250	1,276,516
長期前払費用	11,642	3,475
破産債権等に準ずる債権	323,565	327,048
その他	69,039	43,709
貸倒引当金	<u>△229,463</u>	<u>△227,333</u>
投資その他の資産合計	<u>1,235,317</u>	<u>1,430,648</u>
固定資産合計	<u>1,578,557</u>	<u>1,813,439</u>
資産合計	<u>4,238,697</u>	<u>3,707,637</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054,889	490,431
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	201,200	199,200
リース債務	8,916	6,241
未払金	682,128	485,120
未払法人税等	69,399	9,518
賞与引当金	5,643	13,714
資産除去債務	4,978	23,773
その他	197,748	125,104
流動負債合計	<u>2,424,903</u>	<u>1,353,103</u>
固定負債		
長期借入金	174,200	25,300
リース債務	31,923	11,701
長期未払金	8,585	6,300
資産除去債務	375,043	342,579
その他	200,805	190,677
固定負債合計	<u>790,557</u>	<u>576,559</u>
負債合計	<u>3,215,461</u>	<u>1,929,663</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,307	2,769,338
資本剰余金	771,788	1,521,820
利益剰余金	<u>△1,768,048</u>	<u>△2,509,196</u>
自己株式	△7,315	△7,376
株主資本合計	<u>1,015,732</u>	<u>1,774,585</u>
新株予約権	7,503	3,388
純資産合計	<u>1,023,235</u>	<u>1,777,974</u>
負債純資産合計	<u>4,238,697</u>	<u>3,707,637</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,808,708	9,205,387
売上原価	5,531,916	4,812,482
売上総利益	6,276,791	4,392,905
販売費及び一般管理費	6,649,735	4,951,127
営業損失(△)	△372,943	△558,221
営業外収益		
受取利息	1,747	814
受取配当金	5,615	19,115
受取賃貸料	132,106	147,758
その他	25,746	33,358
営業外収益合計	165,215	201,046
営業外費用		
支払利息	13,844	6,421
貸貸資産関連費用	133,245	133,913
株式交付費	18,283	53,852
その他	8,016	48,191
営業外費用合計	173,390	242,379
経常損失(△)	△381,119	△599,555
特別利益		
固定資産売却益	19,915	462
関係会社株式売却益	290,874	—
事業譲渡益	152,537	—
新株予約権戻入益	4,114	4,114
その他	3,199	784
特別利益合計	470,640	5,361
特別損失		
固定資産除却損	48,821	22,012
減損損失	570,258	3,074
早期割増退職金	209,396	32,387
貸倒引当金繰入額	—	80,364
解約違約金	—	5,810
その他	—	23,044
特別損失合計	828,475	166,692
税金等調整前四半期純損失(△)	△738,954	△760,886
法人税、住民税及び事業税	71,607	8,402
法人税等合計	71,607	8,402
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△810,562	△769,288
四半期純損失(△)	△810,562	△769,288

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,808,708	9,205,387
売上原価	5,531,916	<u>4,784,342</u>
売上総利益	6,276,791	<u>4,421,045</u>
販売費及び一般管理費	6,649,735	4,951,127
営業損失(△)	<u>△372,943</u>	<u>△530,081</u>
営業外収益		
受取利息	1,747	814
受取配当金	5,615	19,115
受取賃貸料	132,106	147,758
その他	25,746	33,358
営業外収益合計	165,215	201,046
営業外費用		
支払利息	13,844	6,421
貸貸資産関連費用	133,245	133,913
株式交付費	18,283	53,852
その他	8,016	48,191
営業外費用合計	173,390	242,379
経常損失(△)	<u>△381,119</u>	<u>△571,415</u>
特別利益		
固定資産売却益	19,915	462
関係会社株式売却益	290,874	—
事業譲渡益	152,537	—
新株予約権戻入益	4,114	4,114
その他	3,199	784
特別利益合計	470,640	5,361
特別損失		
固定資産除却損	48,821	22,012
減損損失	570,258	3,074
早期割増退職金	209,396	32,387
貸倒引当金繰入額	—	80,364
解約違約金	—	5,810
その他	—	23,044
特別損失合計	828,475	166,692
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△738,954</u>	<u>△732,746</u>
法人税、住民税及び事業税	71,607	8,402
法人税等合計	71,607	8,402
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△810,562</u>	<u>△741,148</u>
四半期純損失(△)	<u>△810,562</u>	<u>△741,148</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△810,562	△769,288
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△810,562	△769,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△810,562	△769,288

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△810,562	△741,148
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△810,562	△741,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△810,562	△741,148

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(訂正前)

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,960,250	2,245,136	9,205,387	—	9,205,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,960,250	2,245,136	9,205,387	—	9,205,387
セグメント利益又は損失(△)	<u>△82,223</u>	<u>△82,215</u>	<u>△164,438</u>	△393,783	<u>△558,221</u>

(注) 1. セグメント損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用393,783千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,960,250	2,245,136	9,205,387	—	9,205,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,960,250	2,245,136	9,205,387	—	9,205,387
セグメント利益又は損失(△)	<u>△63,447</u>	<u>△72,851</u>	<u>△136,298</u>	△393,783	<u>△530,081</u>

(注) 1. セグメント損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用393,783千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。